

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 佐渡市下水道事業運営協議会
開催日時	令和7年2月27日（木） 13時30分開会 15時00分閉会
場所	真野行政サービスセンター 2階 第2会議室
議題	(1) 経営状況について (2) 公共下水道の整備予定について (3) マンホールカードについて (4) その他
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	非公開 （佐渡市情報公開条例第7条第5号に該当するため）
出席者	委 員 8名 事務局 上下水道課：森川課長・増家課長補佐 上下水道課下水道総務係：本間主任・石渕主任・椎 上下水道課下水道工務係：堀部係長 上下水道課下水道維持管理係：金子係長
会議資料	資料1 経営状況について 資料2 公共下水道事業整備（未普及）施工箇所図 資料3 マンホールカードとは
傍聴人の数	なし
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
森川課長	1 開会 当市の下水道事業は、多くの下水道施設を保有しなければ下水道サービスが提供できないという地形的な要因や、広域化ができないという離島のハンデ等から、一般会計からの繰入金に依存しており、厳しい経営状況にある。 下水道施設を維持し続け、公共インフラサービスを継続していくためには、収益確保等の取り組みを通して、経営改善を図っていく必要がある。 このことから、本日は、経営状況のシミュレーションや料金改定のスケジュール等を提示しているので、当市の下水道事業の維持継続のため、皆様の忌憚のない意見をお願いしたい。
	2 座長の選任 佐渡市下水道事業運営協議会開催要綱第4条第1項の規定に基づき、互選によりA氏が選任された。
増家課長補佐	3 議題 (1) 経営状況について 事務局より資料1に基づき説明を行い、委員から質疑及び意見を聴取した。 （説明要旨） ・下水道使用料や生活環境課からのし尿処理負担金、国の補助金等を維持管理費に充てているが、令和5年度の決算ベースで、1億4千4百万程度の不足額が発生し、一般会計からの繰入金で補填している。 ・人口減少に伴い、下水道使用料は減収していく見込みである一方、維持管理費は、人件費や物価高騰により年々増加する見込みである。 ・今後の維持管理費とその財源をシミュレーションしたところ、現状のまま下水道事業を運営した場合、6年後の令和13年度には、5億4百万程度不足する見込みである。 ・佐渡市自体の財政状況も良くないことから、これ以上の一般会計からの繰入金の増額は、困難な状況である。 ・このままいくと、下水道施設の維持が困難になることから、下水道使用料改定の検討が必要となっている。 ・下水道使用料の改定例を示してあるが、あくまでも例であり、改定率等は来年度の運営協議会で意見をいただきたい。なお、改訂までのスケジュールについては、令和8年4月1日改定で、別紙の案のとおり考えているので、本日は、このスケジュールについて意見をいただきたい。 ・下水道使用料の改定率を抑えるため、現在、人員削減や汚泥の堆肥化、施設の統廃合等の維持管理費を下げる取り組みや、処理場の空き地を用いた太陽光発電、汚泥肥料の販売などの収益をあげる取り組みを検討している。

森川課長	・資料の料金改定例は、公営企業として採算性に着目して料金改定するとこれくらいは必要になると皆様に捉えてほしく示したものであり、このとおりに実施したいというものではない。 ・水道事業についても下水道事業同様に、厳しい経営状況であり、水道料金の改定の検討が必要となっている。 ・先般開催した水道運営審議会において、水道料金の改定に向けた取り組みについて承認を受けた。このため、下水道使用料の改定については、水道料金との兼ね合いや、市民負担の度合い等、様々な観点から今後検討していかなければならない。
B 委員	(質疑・意見) Q 下水道は水道と同様に重要なライフラインであるが、八潮市のニュースであったように、今後施設の老朽化が進み、維持管理費が確実に増加していく。 使用料金を上げるだけではなく、佐渡市として維持管理に対する支援に関して、国への要望等は行っているのか。
森川課長	A 離島振興や市長会を通して、国に基本的な財政支援を求めるという要望を数年前から出しているが、今後も継続して要望をしていきたい。
座長	Q 下水道事業を維持していくためには、料金改定は仕方がない部分があると感じているが、それだけではなく、上下水道課として、維持管理費を抑え、収益を上げる努力が必要である。
森川課長	A 先ほど示した資料にあるとおり、料金改定だけに頼るのではなく、下水道事業としても経営改善にしっかりと取り組んでいきたい。 経営改善にしっかりと取り組んだなかで、料金改定についてもお願いしていくという形を取っていきたい。
C 委員	Q 表 1 の支出の中で、維持管理費が 7 億 3 千 4 百万とあるが、このうち人件費はどれくらいの割合か。また、人件費以外の内訳は何か。
森川課長	A 人件費の割合は半分くらいだと思うが、詳細な数値は後日送付する。なお、人件費以外の内訳は、委託料と修繕費である。
C 委員	Q 水道料金改定の話があったが、改訂率はどのように考えているのか。
森川課長	A 先ほど申し上げたとおり、水道料金と下水道使用料の兼ね合いや、市民負担の度合い等、様々な観点から検討し、最終的な改訂率を決定したい。
B 委員	Q 収益確保の取り組みとして、太陽光発電について検討するという話であったが、これは初期費用が掛かり、収益を上げるのは厳しいのではないか。
森川課長	A 保有する遊休地を事業者を提供し、初期費用等は事業者負担で発電設備を設置し、発電した電気を購入するという P P A という事業の活用を想定している。 下水道事業の持ち出しの費用をほぼ 0 にした中で、経営改善に繋がるメリットが大きい事業となるように取り組みたい。
B 委員	Q 有人国境離島の補助金が下水道事業で活用できるように国へ要望してほしい。
森川課長	A 地方の下水道事業の運営が継続できるように、有人国境離島を含

B 委員 森川課長 堀部係長 増家課長補佐 C 委員 森川課長	めて、国の補助や制度の拡大、あるいは緩和を、国へ要望をしていきたい。 Q 佐渡市の下水道使用料は、県内で一番高い。また、水道料金の改定も検討しているというなかで、これ以上、下水道使用料を上げるのは厳しいのではないか。 もし、上げるのであれば、3年後、5年後に改善されたことが、市民の目に見える形にしてほしい。 A 料金改定があって、その先に改善が目に見える下水道事業にしていきたい。 (2) 公共下水道の整備予定について 事務局より資料2に基づき説明を行い、委員から質疑及び意見を聴取した。 (説明要旨) ・公共下水道の環境整備で残っているのは、佐和田、金井の国府川処理区と、長江、上横山の両津処理区となっている。 ・令和10年度の概成に向けて事業を進めているが、直近の状況から、令和9年度には概成の見込みである。 ・工事費の概算としては、約5億円、延長にして、距離が3,500m程度を予定している。 (質疑・意見) 特になし。 (3) マンホールカードについて 事務局より資料3に基づき説明を行い、委員から質疑及び意見を聴取した。 (説明要旨) ・マンホールカードは、ご当地のマンホール蓋のデザイン（以下「デザインマンホール」という。）をカード化したものである。 ・佐渡市には、旧10市町村と姫津の計11種類のデザインマンホールがある。 ・現在、相川、金井、小木、畑野のデザインマンホールをカード化して配布している。 ・今後、残りの7地区のデザインマンホールについてもカード化していく予定である。 ・配布数の内訳をみると、県外から訪れ、取りに来ている方が一番多い。 (質疑・意見) 特になし。 (4) その他 全体を通して、委員から質疑及び意見を聴取した。 (質疑・意見) Q 今ほど説明のあった料金改定のことについて、この場で賛成、反対の結論を出さないといけないのか。 A 今日、示したスケジュールをもって、料金改定に向けた取り組みを進めていくということの確認をお願いしたい。 具体的な料金改定についての議論は、このスケジュールに基づいて、令和7年度の運営協議会の中で行っていきたい。
---	--

C 委員	Q このスケジュール案に示されているとおりの回数で、運営協議会を開催するのか。
森川課長	A はい。 開催のタイミングは、水道運営審議会と同じ時期での開催を想定している。
C 委員	Q スケジュール案に議会の委員会への説明とあるが、委員会での意見も反映していくのか。
森川課長	A はい。
D 委員	Q 値上げは、今のところ仕方ない感じではあるが、B 委員と同じ意見で、下水道は公共性が高いものであることから、国への要望をしっかりと行ってほしい。
森川課長	A いただいた意見をしっかりと届けていきたい。
増家課長補佐	3 閉会 増家課長補佐あいさつ